



2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

SEPTEMBER.6.2023 第2076回

会長/上原 達 幹事/松山賢太郎 会報委員長/玉井権太郎

例会：毎週水曜日 午後12:30 ~ 1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>
E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

西入ガバナー補佐 事前訪問



東信第二グループ ガバナー補佐

西入 悦雄様

こんにちは。この様な形で自クラブを訪問し、皆さんにお会いしなければ成らない事が有るとは夢にも考えた事が無かったし、私の人生設計の中には無かった事なので戸惑って居るのが現状です。とは言っても、今年はガバナー補佐として色々無理をお願いしたり、ご迷惑をお掛けする事が多々有ろうかと思いますが1年間お付き合いの程宜しくお願い致します。

又、ガバナー補佐としての最初の難関がこの事前訪問に成ると常々考えておりましたから、何とか無事に1日が過ぎてくれればと願っておる次第です。

午前中の会長・幹事懇談会はお互い気心の知れた上原会長さん松山幹事なので、和気あいあいの中でクラブの様子をお聞きする事ができました。

次に例会での講和ですが、長年一緒にRC活動してきた皆さんの前で、立ち位置が変わったからと云って、改めて「RCとは何ぞや」と話す事は私には出来ないし、してみても「釈迦に説法」と申しますか説得力が無く意味が無い。また8月の半ば、お盆前に上田RCさんにお伺いして、人生初の事前訪問を経験させて頂きましたが、力みが有ったのか沢山の事を伝えようと思いオーバーフロー、時間切れに成って仕舞いショートカットしてご迷惑をお掛けしたので、本日私の話は省略してシンプルに進めたいと思います。

先般、新年度が始まる前に地区で新旧の合同役員会議が開催されました。その折、折井ガバナーに、我々ガバナー補佐は地区と各クラブを繋ぐメッセンジャーボーイなので事前訪問で各クラブに何を伝えるべきか資料を下さいとお願いしたら、これから流すパワーポイントを送ってくれましたので、御覧頂きながら地区の方針、そして彼のプロフィール・人柄等を注釈を入れながら説明させて頂きます。

そして、次に残り時間10分に成りましたら、今年度の貴クラブの標語「“ロータリーアン”であることを誇りに“ロータリーライフ”を楽しむ “ロータリー”の喜びを広

めましょう」について上原会長さんより、どのような思いで絞込・決定したのかをお話をして頂く時間を設けたいと思います。私も会長職を経験した時に一番拘ったのが此の標語でした。多分上原会長も、この短い文章の中に“RCの置かれている状況”“自クラブの現状”“自分の人生感”等色々な要因を考え併せて、此の標語に至ったと思います。「その真意」を語って頂き上原会長さんの思いを会員の皆様が理解・共有・共鳴して頂き、貴クラブが一致団結してRC活動に邁進して頂くのであれば、私共がこうして例会に参加させて頂いた事の意義・意味が出て来ると思います。ので今日のメインは此処に有る事をご理解頂きたい。

それではパワーポイントの説明をさせて頂きます。

ガバナーのプロフィール

氏名 折井 正明 (おりい まさあき)

所属クラブ 松本ロータリークラブ
(鑑訪クラブにも5年)

務先 長野三菱電機機器販売株式会社
(現在:取締役 会長)

職業分類 電気機器販売

生年月日 1957年(昭和32年)7月23日 現在65歳



プロフィール(続)

趣味・学歴・職歴

趣味 ゴルフ・ウォーキング・スキー・ワイン・ドライブ

学歴 松本深志高等学校
慶應義塾大学経済学部 経済学士
同大学院社会学研究科 社会学修士 同博士課程終了
フランス国立社会科学高等研究院 社会心理学博士

職歴 杏林大学 社会科学部講師・小田原女子短期大学講師

折井さんのプロフィール、人柄は以上の様に温厚な方です。RCに入会11年で地区へ約20年でガバナーとRCのエリートコース歩んでる方です。我々から見ると大変だろうなー・・・と感じて仕舞うのですが!!!!!!

次に、地区方針ですが「END POLIO NOW」が基本テーマで重点目標は10月22日ポリオデーの「古着de

ワクチン」です。県下での「古着deワクチン」のチーム申請25、財団補助金を使わずにキット・T-shirts購入参加クラブを含めると、43クラブの皆さんに協力頂いたようです。盛大なイベントに成りRCの公共イメージの向

上にも繋がると思います。

地区の活動目標等についてはガバナー訪問の際に詳細な説明が有ろうかと思っておりますので私の方での詳細の説明は控えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

例 会 日 誌 9月6日(水) 晴れ 2023～2024 No.7

- 司 会 後藤正直君
- 斉 唱 「君が代」「我等の生業」
- ビジター 西入悦雄様(東信第二グループガバナー補佐)
飯島洋一様(ガバナー補佐幹事)
- 9月慶祝 ※次号に掲載します
- ラッキー賞 高野智宏君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 浜野浩孝君(滝澤君より岡崎酒造の「亀齢」
滝澤「恒例の『瀧澤』にしようと思ったのですが北村商店がお休みでー」



■会長挨拶 上原 達 会長

9月1日は、「防災の日」でした。関東大震災（大正関東地震）は、大正12年（1923年）9月1日午前11時58分に発生した推定マグニチュード7.9の地震。未曾有の大規模災害で死者・行方不明者は10万人を超え、住宅の全壊・全焼は約29万棟に上り、当時の日本社会・経済に大打撃を与えました。その教訓を基に日本の災害対策は強化され、現在の耐震基準の基礎となる耐震規定の制定や、地震発生メカニズムの解明など地震研究の進展につながってきています。

公助・共助・自助という言葉、災害の際によく耳にするかと思えます。

- ①公助とは、市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助がこれにあたります。
- ②共助とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこといいます。関東大震災の際も住民同士の助け合いが大きな役割を果たし現在のボランティアに繋がっていると言われてます。
- ③自助とは、災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身の安全を守ることにあります。

大規模な地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具の転倒によるものであり、東日本大震災では、地震発生後に、巨大な津波が短時間で襲ってきました。こうした地震直後の状況下で、一人ひとりを助け、守ることに必要不可欠となるのは、自ら守る「自助」と、近隣で助け合う「共助」となります。「公助」だけでは被害にあった人がたくさんいる場合には救助・援助する側の人手が到底足りません。たとえば下敷きになった人

は一刻も早く助け出す必要がありますし、津波のときは声をかけあって高台にすぐ避難することが必要です。

災害発生時だけでなく、日ごろの対策や、復旧・復興対策においても、それぞれの役割を考えておくことが必要となります。例えば、家具などの転倒防止や個人住宅の耐震化、水や食料の家庭での備蓄などは「自助」が中心となります。

一方、避難所等の確保や避難路の整備等は「公助」が中心となります。また防災教育・防災訓練は、学校・地域・家庭が連携して行うことが必要となるなど、「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠となります。

「自助」、「共助」、「公助」のうち、私たち自身にできるのは「自助」と「共助」です。一人ひとりが、「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち、日ごろから災害に備えておくことが重要となります。「自助」になる火災保険は、災害の際に建物の復旧が目的となっており使い道が決まっています。それに比べて地震保険は生活費の足しにしたり、家の修繕費に充てたり、自動車の購入費に充てあたりと使い道が自由となっており、災害からの金銭的な立直りに大きな役割を果たしています。

■幹事報告 松山賢太郎 幹事

- ・9月のロータリーレート 1ドル=146円 (←141円)
- ・地区事務所より「第1回会長エレクト、次期幹事研修」のご案内。10月1日(日) 佐久平交流センター

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	49	46	17	—	63.04%
前々回	49	45	10	8	95.56%

ニコニコBOX

(敬称略)

上原、遠藤、小田中、北村、後藤、塩之入、白井、高野滝澤、田守、塚田、手塚(多)、松山、蓑輪、宮坂、母袋(創)母袋(卓)、渡辺

※田守正彦君/ガバナー補佐ようこそ。クラブ訪問もあとわずか。お体に気をつけて下さいね。

※母袋創一君/会社時代の同期から連絡があり、「軽井沢に別荘建てた」と。羨ましい限りです。

※母袋卓郎君/2日・3日、ロータリーアマチュア無線クラブ第42回軽井沢総会に県代表で参加。7、80歳代のOMさんが全国から参集！素晴らしい方々との出会いに感謝です。

本日の金額/27,000円 累計/312,000円

[次週のプログラム] 9月20日(水) 折井正明ガバナー公式訪問(上田六文銭RCと合同)